

市民主役所構想

あなたがやってみたいことは何ですか？
あなたの得意なものはなんですか？

他人事でない、自分事として
あなたの想いを一緒に叶えましょう！

サバヌシ総会



まち構想
みんなで考えよう



音楽がいつも
楽しめるとい
いなー



ものづくりに若
者が興味をもっ
てほしいな



人を呼び込
みたいな～

乗り物は
遊び場は
駅前



町はきれい
な方がいい
ね



これから考えられる「〇市」の課題は？

- 人口減少(少子高齢化)による税収不足
 - 行政サービスの低下(多様性対応の難しさ 等)
 - 新幹線問題・・・特急存続 駅周辺の在り方 周辺市町連携は
 - 街中の活性化と地域の在り方
 - 交通問題(コミバス含む利便性)
 - 施設の老朽化による改修(廃止)および活用方法
 - 「〇市」として何を<ウリ>にするか(ものづくり・観光・住みよさ)
- 等々

「市民側で、何かできることはないかな？」

これから考えられる「〇市」の課題は？

- 地域コミュニティの低下　ご近所付き合いの難しさ
- 安心、安全な地域づくり(災害対応等)重要性
- 地域の子ども達が見えない。遊び場がない。体力の低下が危惧
- 学校部活動の地域移行(学校・地域・家庭の在り方　働き方改革等)
- 自治会の低下(成り手不足・高齢化)
- 行政関係団体・市民活動団体等の活動低下(マンネリ化・形骸化等)
- 世代間交流機会の減少　等々

「自分事で考え、何かできることはありませんか？」

市民主役所構想とは？

- 将来に向けて持続可能な市民主役の「場」(施設改修に伴う)をつくる。
第2部ワークショップにて、皆さんのご意見を出してください。
(機能・設備を含むソフト面・ハード面)

目的:市民力(市民主役)を高めるための拠点づくり

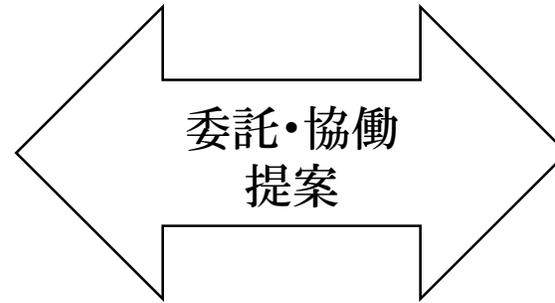
考え方:市民、市民団体等が目的や目標を共有し、何をすべきか
何をなすべきか、何ができるかを考え実現していく「場」
……行政と協議を進めます。

市民主役所構想とは？

- 施設(今後の改装、廃止含む)活用の方法(見直し)
- 市民・市民団体等のやる気を促す体制づくり(強化)
- 提案型市民主役事業を行う。(市民主役提案型事業)
- 行政との協働事業連携を行う。
- 市民活力の応援および、起業者への支援を行う。
- 情報の収集や情報の提供および、必要な手続き等を行う。
- 若者が集い活躍できる体制を整える。
- 自主事業を考え、自主経営体制を整える。
- 市民主役所事業を生み出し、行政と目的を共有する。連携協働

市民主役所構想イメージ

- 行政が担う事業(政策)
- 委託、新規事業
- 市民主役所が担う事業



コーディネーター (各課往来)

情報の発信・提供・連携・共有 等

事業委託・協働・提案

自主事業

施設管理 他 ※成果が求められる。

「集う場」「力つける場」「つなぐ場」「まとめる場」「稼ぐ場」

＜市民主役所部署＞(例)

市民活躍課

健康福祉課

環境課

農林産業課

防災課

ブランド課

青少年育成課

IT推進課

市民協働課

地域自治課

スポーツ文化推進課

他

市民主役所構想

「できるの？」

「できるんです」

と言うより、「やるのです、今から」

未来に残す、持続可能なまちづくりを
みんなの知恵と発想で創りましょう！

※イメージはつかめたでしょうか。

社会 (28)



ふくいフィッシュ&チップス
らっきょ鯖ずし
ルビー鯛めし

北陸新幹線の県内開業に向け、食のトップバイヤーと県内事業者が協力して開発した新名物料理のお披露目が7日、県庁で開かれた。メインの食材は、けなげもろこしにも県産品を活用した6品が発表され、主催した県の担当や事業者は「県内外の多くの人味わってほしい」と話した。

6品できた 福井新名物

県産食材ふんだん 7事業者が商品化



丸ごとあげ寿司
九頭竜まいたけハヤシorカレー
ふくいパインミ

写真は、福井の新名物として披露された6品 (県提供)

鯖江名物を作り客を呼びたい。

サンドーム来場者に鯖江を宣伝したい。

者差別解消法に基づい 小の再編の是非や災害時の対 に向けた誘客促進について理

め認知件数27件 予者「すべて解消」

野市 7日、本会議を再開し、5人が一問した。 保俊岳教育長は2021の市内小中学校でのいじ知件数は、小学校が19件、校が8件あったとし、「す解消している」と報告。 学校の児童生徒数は「過去間で最多となった」と述べた。高岡和行議員(もえぎ)への答弁。

22年の中心市街地の観光入込み客数について理事者前年比42%増の約61万人、前大野城の入館者数は前年約20%増の約4万7千人と約3年ぶりに行動制限の

ないゴールデンウィークとなり、各種イベントが開催されたことなどが要因とした。高田育昌議員(市政会)の質問に答えた。

▽質問者 山崎利昭(清風会) 高岡和行(もえぎ会) 白崎貴之(市政会) 伊東由起恵(同) 高田育昌(同) (塚本剛史)

「おせっかい」と連携 市街地誘客に意欲

鯖江市 7日、本会議を再開。6人が一般質問した。サンドーム福井のコンサート客をもてなすボランティア団体鯖江おせっかいの活動について理事者は「市としても感謝しかない。また鯖江に来たいと思える環境を

一緒につくっていききたい」と述べた。林下豊彦議員(志清同友会)への答弁。

【25面に関連記事】 同会は市民有志で2017年に発足。コンサートの度にJR鯖江駅周辺に立ち、来場者に飲食や休憩、宿泊できる場所を案内している。道路の除雪やライトアップも行い、きめ細かいもてなしには出演者からも感謝の声が寄せられている。来場者の市街地誘客へ理事者は「観光情報を発信するスマホ向けサイトの作成や、コンサート日に合わせたイベント開催を検討している」と述べた。

▽質問者 福原敏弘(志清同友会) 江端一高(同) 林太樹(同) 林下豊彦(同) 大門大(同) 市民創世会 遠藤隆(公) (堀川耀)

高浜町 開会、35 までの18日間 開 2023年 予算案(12 円) 22年度 正予算案(5 円) 35議案が 一般質問は



市民が主役の
まちづくり

Sabae
🕶️

◇七夕協定



市民主役条例推進キャッチコピー「市民でつくる世界のSABAE」

●地域自治部会
まちづくり応援団
養成講座



●さばえブランド部会
ブランド大使
事前ミーティング

●若者部会

●市民参画部会
提案型市民主役事業化制度
花壇コンクール事例



●サバヌシ総会
未来会議



平成15年10月 鯖江市市民活動によるまちづくり推進条例

条文一部抜粋

地域の力量を強化していくためには、今後さらに市民が主体となり、従来の行政だけでは対応しきれない分野を「新しい公共サービス」として創造し、新たな協働事業を展開していくことが必要です。

目的

第1条 この条例は、市民活動を推進し、市民、市民活動団体、事業者および市の連携と協働による地域に求められている新しい公共サービスを創造するための基本理念および基本的事項を定め、多様な価値観を認め合う豊かで活力ある地域社会を実現することを目的とする。

平成22年4月 鯖江市民主役条例

第1条 この条例は、市民が市政に主体的な参加を果たし、未来に夢と希望の持てる鯖江の実現に向け、市民と市が共に汗を流すという意志と、それを実現するために市の施策の基本となる事項を定めることにより、自分たちのまちを自分たちがつくるという市民主役のまちづくりを進めることを目的とします。

第2条 (基本理念)

第3条 (ふるさと学習)

第4条 (鯖江ブランド創造)

第5条 (ふるさと産業)

第6条 (地産地消)

第7条 (地域づくり)

第8条 (ボランティア、市民活動)

第9条 (情報の集約、発信)

第10条 (市民と行政の情報共有)

第11条 (市民参画)

第12条 (条例の自己点検、見直し)

<市民主役条例推進委員会> 具現化

市民主役条例推進委員会（具現化する委員会）としての反省点と今後の進め方

1) 会の形骸化・・・各部会の新しい発想や仕掛けが少ない。 委員が少ない。

自分事としてどのように捉え、それをどのように伝え、共有できるか。 ※目的の共有
常に新しい人材確保と仕掛け、その結果や成果を出していくことが必要 ※若者の活用
それぞれの人（市民）が活躍できる場（得意な分野）が必要 ※場づくり

2) 事業の精査（見直し）

例：提案型市民主役事業・・・イベント事業/講座事業～市民ができる事業を精査

受託側のメリットが少ない。事業評価の見直し

※市民主役提案型事業

：指定管理者制度・・・効率化と実績重視

※市民サービス

協働の理念を共有

：まちづくり応援団の活用・・・地域自治会との連携

※地域づくり

3) 市民団体等との連携・・・情報の共有

4) 条例の見直し

5) その他

※次世代に何をつないでいくかを、行政共々考えましょう！